

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪社(上社・下社)旧神宮寺由来の仏像等所在マップ作成活用事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人大昔調査会 (代表理事 高見俊樹 oomukashichousakai@gmail.com)
事業区分	(3) 教育、文化の振興 (6) 産業振興。雇用拡大(ア 特色ある地域づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,104,590 円 (うち支援金: 883,000 円)

事業内容

- ・日本では中世以降「神仏習合」の考えが根付き、諏訪社(上社・下社)にも付属寺院の神宮寺を中心に多くの仏教施設や仏像があった。明治維新の際、政府の神仏分離令により全国で多くの寺院や仏像が壊されたり焼かれたりし諏訪社でも上社・下社の神宮寺が廃されたが、周辺寺院や人々の努力により神宮寺関係の仏像等の多くが、近隣の寺院等に現存している。
- ・激動の歴史を乗り越えて現存する「旧神宮寺由来の仏像等」に注目し一斉公開する計画が「諏訪神仏プロジェクト実行委員会」により進行している為、仏像等の所在や内容の分かるマップを作成し公開事業及び今後の文化財保護や観光開発に供したい。

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ・完成したマップ及び公開事業は、「御柱祭」を機に高まると予想される市民・観光客の、諏訪や諏訪信仰への関心をより深い内容へと導き、諏訪信仰のもう一つの側面にも注目し学習しようとする意欲を高める役割を果たすものとなる。
 - ・本事業は地元住民や学習グループによる生涯学習活動のための一助にもなり、全国の観光客や歴史ファンを諏訪へと誘うツールとしても有意義である。
 - ・マップ作成を機に専門家を交えた調査が行われ、歴史的文化財としての仏像等に新たな光が当てられた。

今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- ・完成した「諏訪神仏一斉公開マップ」を、公開事業に参加する諏訪地域の寺院・神社・博物館、6市町村の観光施設等に配布し、地元住民及び観光客の利用に供する。
 - ・まずは諏訪にも「神仏習合」の時代が長く続いたこと、その痕跡を示す「旧神宮寺由来の仏像等」が現存することを広く知ってもらうようマップを活用した学習会等も企画したい。
 - ・今秋に予定されている「仏像等一斉公開」にあたっては、参加寺社や博物館・団体等と連携して、公開事業を円滑に行うとともに、文化財保護への理解や生涯学習活動の充実にも資するような諸事業を展開したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【仏像調査・富士見町法隆寺】

【目標・ねらい】

- ① 地域の歴史を学ぶ教材を作成
- ② 地域住民・観光客の活用期待
- ③ 住民による街の魅力発見
- ④ 貴重文化財資料のデータ化

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・地域の歴史や文化財への関心を高め、もう一つの「諏訪信仰」とも言うべき神仏習合の世界へと地元住民・観光客等を誘うツールとなる「諏訪神仏一斉公開マップ」が完成し、高度活用が期待できる。
- ・秋の一斉公開へと気運を高められる。